

1. 受信メールアドレス匿名化(Incoming Protection)の利用例

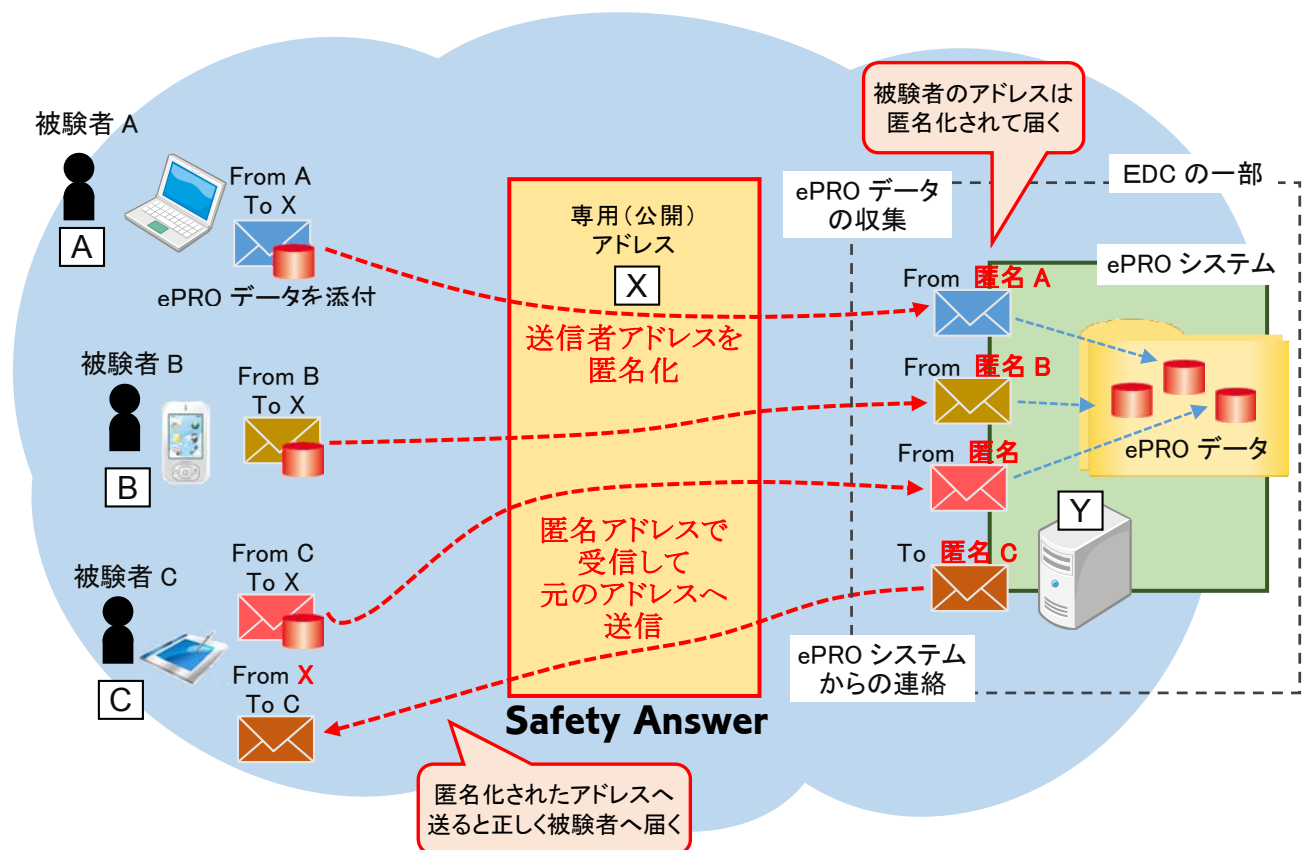
～臨床試験参加被験者の保護～

臨床試験において、被験者と ePRO システムとの連絡などに活用します。

メールを使つての ePRO データの送付はもちろん、スマートホンのアプリや WEB ページからの ePRO データの投入システムでも、被験者とのメール連絡時に **Safety Answer** を利用することで、被験者個人のメールアドレスが匿名化され、ePRO システムの運用者が被験者個人のメールアドレスを保持せずに、システムを運用することが可能となります。

① 被験者と ePRO システムのデータ転送やメール連絡に利用

臨床試験に参加する被験者のメールアドレスを匿名化して、ePRO システムとの連絡に活用します。被験者から ePRO システムへ届くメールは送信者アドレスが匿名化されて届きます。ePRO システムから匿名化された被験者のアドレスへメール送信すると、正確に被験者へ届きます。

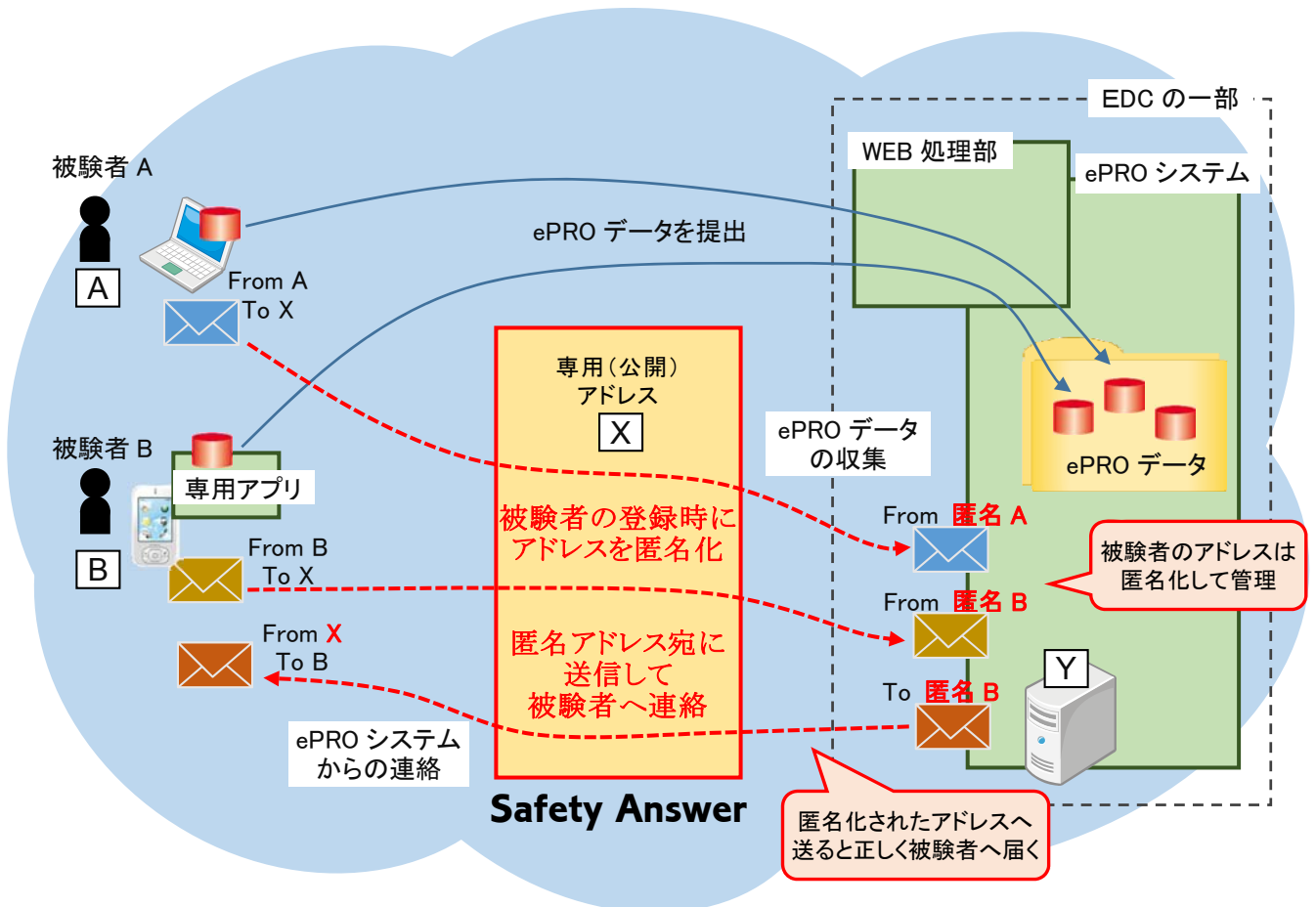


Safety Answer を使つた被験者メールアドレスの匿名化は、既存の臨床試験システムに手を入れずに、ePRO システムの前段に **Safety Answer** を配置することで実現します。

システム全体のリプレイスも必要が無く、大きな導入コストなども不要です。

② 被験者と ePRO システムのメール連絡に利用

ePRO データの提出は ePRO システムを活用し、被験者への連絡で **Safety Answer** を利用します。臨床試験に参加する被験者のメールアドレスは匿名化されて、ePRO システムへ登録されます。ePRO システムから匿名化された被験者のアドレスへメールを送信すると、正確に被験者へ届きます。



ePRO システムへ登録する被験者のメールアドレスを匿名化して運用することで、被験者の個人情報を守ります。直接被験者のメールアドレスへメールを送信するかわりに、匿名化された被験者のアドレスを使います。

Safety Answer を使った被験者メールアドレスの匿名化は、既存の臨床試験システムに手を入れずに、ePRO システムの前段に **Safety Answer** を配置することで実現します。システム全体のリプレイスも必要が無く、大きな導入コストなども不要です。